

令和2年度 みずほ保育園 事業計画

主テーマ『子どもの主体性を育み、子ども達が笑顔でいられるように』

今年度、みずほ保育園では「子どもの主体性を育み、子ども達が笑顔でいられるように」という主テーマのもと、保育を実施し、保育内容の充実を図ると共に、それを支える保護者の気持ちにも寄り添い、保護者の養育力の向上につながる保育園の特性を活かした支援を実施していきたいと思います。

また就学前から義務教育期間の10年間を通した系統的で一貫性のある教育を行う「小中一貫教育：宮津学院」が今年度より施行されます。その学院教育目標に則り、「ふるさと宮津を愛し、心身ともに健康で

『生きる力』を身につけた幼児・児童・生徒の育成」が行えるよう地域関係機関との連携も深めていきたいと思います。

そしてみずほ保育園 保育目標にも掲げている、「親が子供を授かった喜びを味わい、子どもを受け入れ、見守り、共感する保育」が実現できるよう職員間の連携を密に保育を行っていきたいと考えています。

【施設運営】

① 関係機関との良好な関係の構築

「保育料の無償化」、「宮津学院」など保護者の興味・関心は非常に高く、保護者、地域利用者が常に安心して暮らせるよう市町村や関係機関との連携を密にとり、制度周知のリアルタイムの情報の把握に努め、健全な運営、法人経営が行えるよう努めたいと思います。

【人材育成】

「保育所保育指針」「子ども子育て支援新制度」「きょうと福祉人材認証制度」等が目指す保育園の在り方、職員スキルなどの理解を深め、保育に寄せる様々な人の思いや願いに支えられながら、子どもの幸せに寄与する事ができるよう園内で研鑽を深めます。また園外研修も積極的に行いたいと思います。

【保育内容】

①子どもが自主的に遊びを展開できるように

これまでの知識・技能、思考力・表現力ではなく、子ども達がやりたいことを見つけて粘り強く取り組む姿の育成として、保育士が主体的に遊びを提供するのではなく、子どもの自主性を尊重し、子ども自身が遊びの内容を考え、工夫し、展開していける環境を整えていき、主体性を育んでいきたいと思います。その際、「卒園までに身につけておきたい10の姿」も意識した指導計画の下、実施したいと考えております。

②防災対策、保健対策、

- ・自然災害に対応できるように改めて防災マニュアルを再整備し、防災対策の意識付けを行います
- ・保健対策として、保護者に対し、流行性疾患ははやる前に意識啓蒙に関する通信を出し、流行性疾患などの予防に努めたい。また園内で流行性の疾病がはやった時には、ホワイトボードやメール配信システム、お便り等を利用して、情報を迅速に伝えたいと思います。

また 昨年度末より流行した「新型コロナウイルス」等のような感染症が流行る冬時期においては、園児や保護者に対し、「手洗い・うがい」の励行と共に、不要な外出を控え、規則正しい生活を心がけてもらうよう働きかけていきたいと思います。

【保護者の意見の収集】

保護者からの率直な意見は、改めて保育の原点、保育の在り方、問題の所在、原因などについて職員全体で話合うよい機会となります。また こうした意見や、直接苦情といった形にならない保護者からの意見、相談等を含めて、職員会議や園内研修の中で「職員のあるべき姿」について伝えていき、「保護者と共に考える」という観点に立って問題をとらえ解決に臨みたいと思います。

保護者の意見の収集の手段として、「連絡ノート」は、貴重な意見のやり取りの場として今年度も継続実施したいと思います。